

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2023年度 大学院入学試験問題

教育人間科学研究科

心理学専攻 博士前期課程 心理学コース<一般入試(春)>

専門 B

解答は、I、IIそれぞれ別の解答用紙に、日本語（または英語）で記述すること。

I 以下の10の設問のうち3つを選び、できるだけ多くの学術用語を用いて答えなさい。なお、解答の中の学術用語には、下線を付し、その用語に対応する英語をその後のすぐ後の括弧でくくって書きなさい。同一の用語を同じ設問中に2度以上用いるときは、下線の英語の初出の用語のみでよい。

1. 心理療法において重要と考えられる「布置」(constellation)という観点について、因果律や共時性という用語を用いて説明しなさい。
2. 遊戯療法とはどのようなものか、アクスラインによる8原則を踏まえながら説明しなさい。
3. 心理的アセスメントの重要性について、心理臨床現場でのインタビュー面接を通して論述しなさい。
4. 教師に指示されたり友人その他の人から勧められたりしたものの、来談意欲が乏しい児童・生徒に対するスクールカウンセリングについて留意すべき点を述べなさい。
5. 闘争-逃走反応について、具体的な生理反応(心拍数、発汗、血圧等)の変化に言及しながら説明しなさい。
6. 感覚記憶について、G. Sperling(1960)の部分報告法を使った実験の概要と、それによってどのようなことが明らかになったのかを説明しなさい。
7. 自己評価維持モデルについて、具体例を用いながら説明しなさい。
8. 囚人のジレンマと社会的ジレンマについてそれぞれ説明したうえで、その違いを整理して記述しなさい。
9. 限局性学習症(SLD)について、医学界と教育界での定義や評価の共通点と相違点を具体的に述べなさい。
10. 石ころと葉っぱと棒があるときに、0歳児、1歳児、3歳児、5歳児はそれぞれ、これらの物を使ってどのように遊ぶか。各年齢群の子どもの具体的な遊び方を、認知面ならびに社会面の発達と結びつけながら記述しなさい。なお、各年齢群の子どもは2人以上(2人以上であれば人数は自由に設定して構わない)とし、その場に一緒にいるのは同年齢の子どものみとする。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2023年度 大学院入学試験問題

教育人間科学研究科

心理学専攻 博士前期課程 心理学コース<一般入試(春)>

専門 B

II 3つの説明変数 A・B・C から、目的変数を予測する重回帰分析を行った。(i)は強制投入法、(ii)はステップワイズ法を用いた結果である。(iii)は説明変数どうしの Pearson の積率相関係数である。これらの結果を踏まえ、(1)~(3)の間に答えなさい。

(i) 強制投入法による重回帰分析の結果

	偏回帰係数	標準化 偏回帰係数	t値	p値	95%信頼区間
定数	4.536		2.305	.029	[0.490, 8.582]
説明変数 A	-0.132	-0.112	-0.598	.555	[-0.585, 0.321]
説明変数 B	1.045	0.446	3.785	<.001	[0.477, 1.612]
説明変数 C	-0.758	-0.626	-3.122	.004	[-1.257, -0.259]

注：決定係数は.753, 自由度調整済み決定係数は.725。

(ii) ステップワイズ法による重回帰分析の結果

	偏回帰係数	標準化 偏回帰係数	t値	p値	95%信頼区間
定数	3.505		2.305	.029	[0.490, 8.582]
説明変数 B	1.051	0.449	3.859	<.001	[0.492, 1.611]
説明変数 C	-0.640	-0.529	-4.544	<.001	[-0.930, -0.351]

注：決定係数は.750, 自由度調整済み決定係数は.731。

(iii) 説明変数どうしの相関係数

	説明変数 A	説明変数 B	説明変数 C
説明変数 A	1	.463	-.853
説明変数 B	.463	1	-.563
説明変数 C	-.853	-.563	1

- (1) 説明変数 A・B・C のうち、どの説明変数が目的変数の予測に最も寄与していると言えるか。理由とともに述べなさい。
- (2) 強制投入法によって得られた重回帰式とステップワイズ法によって得られた重回帰式について、それぞれ記載しなさい。
- (3) ステップワイズ法の結果では説明変数 A が除外されている。その理由について考えて述べなさい。

氏名		受験番号	
----	--	------	--

2023年度 大学院入学試験問題

教育人間科学研究科

心理学専攻 博士前期課程 心理学コース<一般入試(春)>

専 門 A

問 あなたが今までに行ってきた心理学の研究、あるいは、これから行おうと考えている心理学の研究について、次の設問(1)(2)に答えなさい。

解答用紙の指定欄に日本語(または英語)で記入すること。

- (1) 研究の概要を 全部で5行程度 で述べなさい。研究目的、研究対象、研究方法を必ず含めること。
- (2) 上記の研究テーマに関わる理論や先行研究についてさらに詳細に説明したうえで、研究の意義を主張しなさい。また、この研究を行うにあたって研究倫理上配慮すべきことについて述べなさい。